

一般社団法人日本鉱物科学会 役員候補者推薦について <公示>

2020年3月12日

一般社団法人日本鉱物科学会 会員各位

選挙管理委員会委員 大内智博, 坂巻竜也, 則竹史哉
会長・副会長候補者推薦委員会委員長 黒澤正紀

一般社団法人日本鉱物科学会定款19条。20条, 23条そして役員選出内規に基づき, 一般社団法人日本鉱物科学会次期役員候補者推薦を下記の通り実施しますことを公示します。

-----定款抜粋-----

(役員の設置)

第19条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上
- (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長とする。
- 3 前項の会長並びに副会長をもって一般法人法上の代表理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

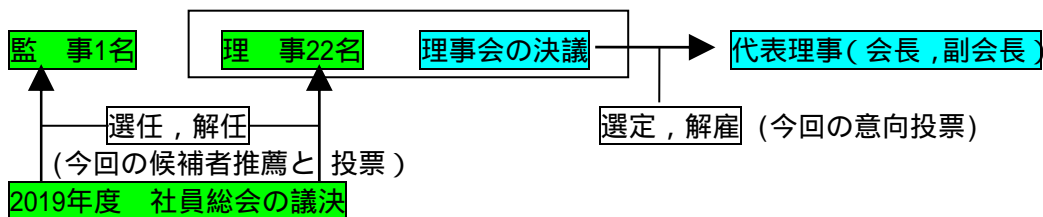
- 2 会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任は妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任は妨げない。

以上から、今回改選される役員は、会長(代表理事)、副会長(代表理事)を含む理事および監事です。但し、最終的に理事および監事は上記定款20条に従って総会で選出されることになります。一方、理事のうち、会長(代表理事)、副会長(代表理事)は、理事であることが条件ですので、定款20条に従って、まずは総会の議決により理事として選任され、次に定款20条2項に従って、理事会の決議により選定されます。つきましては今回の会長、副会長候補者選挙は候補の意向投票となりますこと、ご理解いただきますようお願いいたします。下記図参照ください。



については、会長(代表理事)・副会長(代表理事)、理事および監事候補者の推薦を次の要領で受け付けますので、役員選出内規(次ページ参照)を踏まえて期日までに推薦をお願いします。

1. 役員とその選出数と任期

役員：定款19条により、理事及び監事である。

選出数：選出される役員は理事(会長、副会長候補者*含む)22名(最大)**と監事1名***である。

*選挙内規13項 (1) 会長候補者は有効得票数の最も多い者を当選者として選出する。

(2) 副会長候補者は有効得票数の最も多い者1名を当選者として選出する。

**選挙内規13項 (3) 理事候補者は有効得票数の多い者の順に会長・副会長の候補者を含めて22名を満たすまで選ぶ。

***選挙内規13項 (4) 監事候補者は有効得票数の最も多い者1名を当選者として選出する。

任期：2020年9月17日開催の2019年度定時総会から2020年開催の定時総会終了までの2年間。

2. 投票方法と選挙時期:投票はWEB投票と郵送による投票とし、いずれも投票期間は、7月中とします。

投票日程は投票依頼時にお知らせします。

3. 選挙権及び被選挙権

- (1) 選挙実施年の3月31日現在において会員名簿原簿に記載されている正会員、名誉会員は、次期の会長・副会長候補者、理事および監事候補者選挙の被選挙権を有します。
- (2) 今年度の第2回定例理事会(2020年5月23日)で承認された正会員、名誉会員は選挙権を有します。

4. 会長・副会長候補者推薦方法

- (1) 正会員、名誉会員は5名以上により会長・副会長適任者を会長・副会長候補者推薦委員会に推薦することができます。
書面には、推薦者(5名以上)の氏名、所属、連絡先と会長、または副会長候補者の氏名、所属、研究分野を必ず明記し、候補者本人の承諾を得て2020年4月15日まで会長・副会長候補者推薦委員会宛推薦書を提出して下さい。
- (2) 会長・副会長候補者推薦委員会は、被選挙権を有する正会員、名誉会員の中から、本人の承諾を得て、1名以上を次期会長候補者および1名以上を副会長候補者として選定します。
- (3) 会長・副会長候補者推薦委員会は、上記の次期会長・副会長候補者を、第2回理事会前日(2020年5月22日)まで選挙管理委員会に書面で届け出なければなりません。
- (4) 次期会長・副会長候補者は同時に理事候補者となります。

5. 理事候補者推薦方法

理事候補者は正会員、名誉会員3名以上により、本人の承諾を得て、第2回理事会前日(2020年5月22日)までに選挙管理委員会に推薦された者

とします。
書面には推薦者(3名以上)の氏名、所属、連絡先と理事候補者の氏名、所属、研究分野を必ず明記してください。

6. 監事候補者推薦方法

監事候補者は正会員、名誉会員5名以上により、本人の承諾を得て、2020年5月15日までに選挙管理委員会に推薦された者

とします。
書面には推薦者(5名以上)の氏名、所属、連絡先と監事候補者の氏名、所属、研究分野を必ず明記してください。

会員からの各候補者推薦締切と宛先	
(1) 会長・副会長 候補者推薦書送付先: 締切: 2020年4月15日まで	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学理学部内 (一社)日本鉱物科学会事務局内 会長・副会長候補者推薦委員会 宛
(2) 監事候補者推薦書送付先: 締切: 2020年5月15日まで	同上住所 選挙管理委員会 宛
(3) 理事候補者推薦書送付先: 締切: 2020年5月22日まで	

E-mailで提出の場合は KYL04223@nifty.ne.jp 宛 提出して下さい。

7. 候補者名簿

選挙管理委員会は期日まで推薦された候補者名簿を作成し、投票期間初日の30日前まで学会HPに公示します。

一般社団法人日本鮎物科学会 役員選出内規

(趣旨)

1. この内規は、一般社団法人日本鮎物科学会の会長（代表理事）・副会長（代表理事）候補者、理事および監事候補者の選挙手続きなどを規定する。

但し、会長・副会長、理事および監事は、下記定款に従って選定される。
定款抜粋（役員の選任）

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(選挙公示と選挙時期)

2. 第1項に規定する会長・副会長候補者、理事および監事候補者の選挙に関する事項は当学会HPや学会誌に**選挙実施年の3月に公示**する。**選挙は隔年7月に行い**、その執行・管理は選挙管理委員会が行う。

(選挙管理委員会)

3. (1) 選挙管理委員会は3名以上の正会員、名誉会員によって構成される。

(2) その委員は選挙実施前年の定例理事会において選出され、会長により委嘱される。

(3) 現職の理事、監事は選挙管理委員になることはできない。

(4) 委員の任期は選出された日から選挙実施年の定例社員総会終了時までとする。

(5) 選挙管理委員が理事候補者となった場合、委員を辞退する。

(6) 選挙管理委員に欠員が生じた場合には理事会が直ちに欠員を補充する。

(7) 選挙管理委員は候補者を推薦することができない。

(選挙権及び被選挙権)

4. (1) 選挙実施年の3月31日現在において会員名簿原簿に記載されている正会員、名誉会員は、次期の会長・副会長候補者、理事および監事候補者選挙の被選挙権を有する。

(2) 選挙実施年の第2回定例理事会で承認された正会員、名誉会員は選挙権を有する。

(会長・副会長候補者推薦委員会及び会長・副会長候補者推薦方法)

5. (1) 次期会長・副会長候補者の推薦を目的とした会長・副会長候補者推薦委員会を設ける。

この委員会は5名の委員によって構成され、委員は理事が正会員、名誉会員の中から委員候補者を選挙で選定して、会長が委嘱する。委員の任期は選出された日から選挙実施年度の定例社員総会終了時までとする。委員長は委員による互選とし、理事会に報告、会長がこれを委嘱する。

(2) 会長・副会長候補者は、正会員、名誉会員5名以上（氏名、所属、連絡先を明記する）を推薦人として、本人の承諾を得て、会長・副会長候補者推薦委員会が指定する指定期日まで氏名、所属、研究分野を必ず明記し「会長・副会長候補者推薦委員会」に推薦することができる。

(3) 会長・副会長候補者推薦委員会は、被選挙権を有する正会員、名誉会員の中から、本人の承諾を得て、1名以上を次期会長候補者および1名以上を副会長候補者として選定する。

(4) 会長・副会長候補者推薦委員会は、上記の次期会長・副会長候補者を氏名、所属、研究分野を必ず明記し、選挙実施年の第2回理事会前日まで選挙管理委員会に書面で届け出なければならない。

(5) 次期会長・副会長候補者は同時に理事候補者ともなる。

(理事候補者推薦方法)

6. 理事候補者は、正会員、名誉会員3名以上（氏名、所属、連絡先を明記する）を推薦人として、本人の承諾を得て、選挙実施年の第2回理事会前日まで氏名、所属、研究分野を必ず明記し選挙管理委員会に推薦された者とする。

(監事候補者推薦方法)

7. 監事候補者は正会員、名誉会員5名以上（氏名、所属、連絡先を明記する）を推薦人として、本人の承諾を得て、選挙実施年の指定期日までに氏名、所属、研究分野を必ず明記し選挙管理委員会に推薦された者とする。

(候補者名簿)

8. 選挙管理委員会は候補者名簿を作成し、投票期間初日の30日前まで学会HPに公示する。

(投票方法)

9. 投票はWEB投票と郵送による投票とし、いずれも投票期間は7月中とする。

(1) WEB投票とは、指定の投票WEBサイトから電子メールで選挙管理委員会に投票が送信されることをいう。

(2) 郵送による投票は、会員名簿原簿に電子メールアドレスが未登録の者で、上記4項の会員に限り、6月に配布される投票用紙で郵送投票することをいう。

(WEB投票)

10. (1) 選挙管理委員会は、指定のWEBサイトに会長・副会長候補者、理事および監事候補者の氏名、所属、研究分野を明記した投票画面を登載する。
- (2) 会員名簿原簿に電子メールアドレスが登録されている上記4項の会員は、画面の説明に従い投票すること。
- (3) WEB投票は次の条項のすべてを満たしたものを有効と認める。
- (a) 指定のWEBサイトからの投票であること。
- (b) WEB投票画面に必須入力 of 氏名、住所、電子メールアドレスが入力されていること。
- (c) 会長・副会長候補者の意向投票は単記、理事候補者と監事候補者に対しては規定数以内の連記であること。
- (d) 必須入力以外の文字や記号を入力しないこと。
- (e) 投票締め切り日まで投票電子メールが選挙管理委員会に届いたものであること。

(郵送による投票)

11. (1) 選挙管理委員会は、会長・副会長候補者、理事および監事候補者の氏名、所属、研究分野を明記した本会印のある投票用紙と投票用返信用封筒を上記4項記載の該当者に配布する。
- (2) 次の条項のすべてを満たしたものを有効と認める。
- (a) 郵送された規定の投票用紙であること。
- (b) 選挙管理委員会行返信用封筒に住所、氏名が記入されていること。
- (c) 会長・副会長候補者の意向投票は単記、理事候補者と監事候補者に対しては規定数以内の連記であること。
- (d) 必要以外の文字や記号などを記入していないこと。
- (e) 投票締め切り日までに選挙管理委員会が受け取ったものであること。

(開票)

12. 選挙管理委員会は投票締め切り後、速やかに、選挙管理委員会が委嘱した若干名の正会員、名誉会員の立ち会いの下に開票を行う。

(候補者の決定)

13. (1) 会長候補者は有効得票数の最も多い者を当選者として選出する。なお、開票の結果、得票数が同じ場合は年長者を、候補者が1名の場合には、有効投票数の過半数とする。
- (2) 副会長候補者は有効得票数の最も多い者1名を当選者として選出する。なお、開票の結果、得票数が同じ場合は年長者を候補者とする。候補者が1名の場合には、有効投票数の過半数とする。
- (3) 理事候補者は有効得票数の多い者の順に会長・副会長の候補者を含めて22名を満たすまで選ぶ。開票の結果、同一得票を生じた場合には、先ず女性次に年少者を当選者として優先する。
- (4) 監事候補者は有効得票数の最も多い者1名を当選者として選出する。なお、開票の結果、得票数が同じ場合は年長者を、候補者が1名の場合には、有効投票数の過半数とする。

(選挙結果の公示)

14. 選挙管理委員会は、選挙結果をホームページ等により会員に公示する。

(次点者)

15. (1) 理事または監事候補者選挙の次点者は、総会で理事または監事の補欠候補者として順位を付して議決するものとする。
- (2) 理事または監事に欠員が生じた場合、理事または監事の補欠候補者の上位者より順に理事または監事として補充する。但し、補欠として選任された理事または監事の任期は、前任者の満了する時までとする。
- (3) 理事候補者選挙の次点者が補欠候補者を辞退した場合、次々点者が補欠候補者となる。

16. この選挙内規の改正は理事会の議決によって行う。

17. 本内規は、平成29年8月12日改正より施行する。

平成29年9月12日改正。

平成30年5月19日改正。

平成30年9月3日改正。